

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に表記)

拡 栗原ブランドの確立・支援事業

1,092万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

インターネットショップや商品カタログによる通信販売を活用したダイレクトマーケティングの推進を支援し、消費者に求められる付加価値の高い栗原ブランドの確立を図ります。



栗原ブランド認定品 (平成23年3月現在26品目)



新 くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

907万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

優良肉牛資源の拡充と栗原ブランドの確立を図るため、市内で生産された優良素牛を自家保留及び導入した場合に助成を行います。

なお、肉量・肉質等の評価が高い^{しげひる}茂洋産子の場合には加算して助成します。



宮城県基幹種雄牛「茂洋」

新 ペレットストーブ購入事業

100万円

(担当：農林振興課林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、公共施設にペレットストーブを設置します。

新 安全・安心な栗原米生産流通対策事業

7,819万円

(担当：農林振興課農政係)

安全・安心な栗原米の生産流通対策として、土壌分析器等整備事業に対する助成や土壌改良剤の散布などを行います。



土壌分析体制を強化します

財源	国・県の負担額	4,928万円
	市の負担額	2,891万円

新 米消費拡大推進事業

50万円

(担当：農業政策推進室)

米の消費拡大を図るため、各種団体が実施する料理講習などに対して「米パン焼き器」の貸し出しを行います。



米パン焼き器の調理実演会の様子

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に表記)

くりはらイノベーションプロジェクト

914万円

(担当：企画課企画調整係)

市と慶應義塾大学は、これまで電気自動車の自動運転システムの実証実験や災害発生時の緊急通信システム、インターネットを活用した健康相談システムなどの共同研究に取り組んできました。これまでの取り組みを統合し、市民生活における環境負荷軽減と市民サービスの向上に資する新たなプロジェクトとして「※グリーン社会ICTライフインフラ」に取り組んでいきます。

※グリーンICTライフインフラとは、人と人とを繋ぐ情報通信技術 (ICT) を活用し、環境に優しい (グリーン) 生活基盤 (ライフインフラ) を目指すプロジェクト



インターネットを活用した遠隔健康相談の様子

防災訓練における災害情報緊急ホットラインシステムの実演

拡 雇用拡大奨励金

2,000万円

新規学卒者 (市内に住所を有する高等学校終了後3年以内まで拡充) を、新たに常時雇用し一定の要件を満たした市内企業に対し、雇用者数に応じて助成を行います。

企業立地促進奨励金 2,769万円
市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を3年間助成します。

雇用促進奨励金 500万円
市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成を行います。

(担当：産業戦略課戦略推進係・商工振興係)



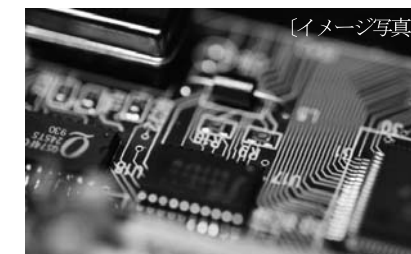
市内企業への就職をお手伝いします。
就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2010」の様子

新 新産業創出支援事業

500万円

(担当：産業戦略課企業支援係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の開発・研究に対して助成を行います。



栗原発のものづくりブランドの創出を支援します

中小企業振興資金

3億4,000万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対し資金融資のあっせんや、保証料を助成します。

財源	貸付金元金収入	3億円
	市の負担額	4,000万円

ものづくり企業活性化事業

290万円

(担当：産業戦略課企業支援係)

地域経済の活性化を図るため、企業連絡協議会を中心として新たに事業展開ができるよう産業人材育成事業、技術向上支援事業等に対して補助金を交付します。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 広域観光戦略推進事業 120万円

(担当：田園観光課観光振興係)

震災により通行止めとなっていた、国道342号や国道398号が、昨年開通したことに伴い、栗駒山麓をめぐる秋田県湯沢市、岩手県一関市、秋田県東成瀬村、栗原市の3市1村による「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」を設立し、広域的な観光PR、観光情報の共有及び発信、観光振興や地域間交流の調査研究などを共同で実施します。



平成22年9月18日に行われた国道398号開通式

新 くりはら交流プラザ改修事業 1億2,449万円

(担当：市民協働課地域振興係)

くりはら交流プラザ(エポカ21)の空調設備改修や公共下水道接続、更には地上波デジタル放送対応テレビなどの整備を実施し、より快適な空間の提供及びサービスの向上に努めます。

拡 観光施設整備事業 1億2,704万円

(担当：田園観光課観光振興係)

ハイルザーム栗駒、花山温泉温湯山荘、金成温泉金成延年閣などの観光施設の整備事業を行います。



改修予定の金成延年閣大浴場

くりはら田園観光都市創造事業 356万円

(担当：田園観光課観光企画係)

豊かな自然や伝統文化、特産品など地域資源を活用しながら、すべての産業が連携して実現する「くりはら田園観光都市」の創造を目指し、資源調査、地域づくりインターン事業、くりはら観光塾などに取り組みます。



観光に関する知識や動向、事例などの学ぶ場として開催する「くりはら観光塾」

商店街活性化事業 200万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用する事業者に対して、賃借料の一部を助成します。

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業

7,078万円

(担当：市民協働課市民協働係)

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自主的なコミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付します。

財源 市の負担額 7,078万円
(うち市債[借入金] 7,070万円)



地域での夏祭りの様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

男女共同参画推進事業 40万円

(担当：市民協働課男女共同参画推進係)

男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう、地域リーダーの養成講座や講演会等を開催します。

財源 県の負担額 9万円
市の負担額 31万円

栗原市市民活動支援センター運営事業 835万円

(担当：市民協働課市民協働係)

NPO(特定非営利団体)やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点として運営を行い、市民活動の活性化を促進します。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

新 栗原市役所本庁舎等改修事業 3億8,980万円

(担当：管財課財産係)

市民サービスの向上や事務の効率化を図り、市役所の利便性を高めるため、会議室の増築や事務スペースの改修工事などを行います。



拡 郵便局窓口交付サービス事業 116万円

(担当：市民課市民係)

最寄の総合支所から離れている地区及び出張所を廃止した地区にある、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田・鶯沢秋法の4郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施します。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

温泉宿泊施設等災害復旧融資利子補給金及び事業費補助金 2,542万円



秘境の温泉宿 湯浜温泉三浦旅館

(担当：田園観光課観光振興係)

震災により被災した民間温泉宿泊施設の早期再開を支援するため、金融機関から受けた融資にかかる利子及び源泉の確保等に係る事業費に対し、一部を補助します。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山麓崩落地・景観活用事業 144万円

(担当：田園観光課観光企画係)

崩落や地すべりなどの被災した栗駒山麓の景観を、震災の経験と記憶を後世に伝える貴重な資源として、防災教育・学術研究・観光の場などに幅広く活用し、地域の活性化を図るため、大学教授などの専門家や関係機関との調整を図りながら整備計画の策定に取り組めます。



国内最大規模の荒砥沢地すべり崩落現場

集落支援対策事業 330万円

(担当：市民協働課市民協働係)

高齢化率が高い花山地区に集落支援員を配置し、集落の巡回を行いながら現状や問題点の把握、さらには集落の将来あるべき姿などについて、「住民と住民」「住民と行政」との話し合いを行い地域の実情に応じた集落の維持や集落対策を行ないます。



花山小豆畑地区の世代間交流事業の様子

中小企業災害復旧融資利子補給補助金 300万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者が金融公庫等から融資を受けた災害復旧対策資金の利子の補給を行い、災害の早期復旧を支援します。

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業 500万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用を助成します。

また、除去後の生垣の設置に対して費用を助成します。

財源	国・県の負担額	112万円
	市の負担額	388万円



対策前



対策後

栗駒山交通渋滞対策事業 300万円

(担当：田園観光課観光振興係)

震災により通行止めとなっていた、県道築館栗駒公園線が、昨年開通したことに伴い、栗駒山を訪れる方に震災からの復興状況と栗駒山の紅葉を堪能していただくため、秋の紅葉シーズンに渋滞対策として、シャトルバスの運行を実施してまいります。



H22年秋のシャトルバス運行による渋滞対策の様子